

第34回 保健環境科学研究所・原子力環境センター研究発表会

日時 令和6年1月24日（水）13:30～16:00

場所 ハイブリッド開催（会場とオンライン）

会場 保健環境科学研究所（定員40名）

オンライン Zoomミーティング

参加費
無料
要事前申込



栄養調査結果からみた若い世代の食習慣の現状

保健環境科学研究所 健康福祉情報課
課長 加本路恵

子どもを産み、育てる若い世代の女性の“やせ”は全国的に課題となっています。島根県における若い世代の女性の食生活にどのような特徴があるのか等、栄養調査（BDHQ）データから把握した現状を報告します。

食中毒細菌であるカンピロバクター属菌の定量的汚染実態調査と次世代シーケンサー解析

保健環境科学研究所 細菌科
主任研究員 林宏樹

家畜が保菌するカンピロバクター属菌は主要な食中毒細菌です。今回、食肉の汚染実態を定量的手法で評価するとともに、次世代シーケンサーを用いた新しい解析法によって、ヒトと食肉由来菌株の関係性を詳細に評価したので、その概要を報告します。

島根県で検出された新型コロナウイルスのゲノム解析

保健環境科学研究所 ウイルス科
研究員 曾田祐輔

新型コロナウイルス感染症は2019年に中国で初めて報告された急性呼吸器疾患です。島根県で新型コロナウイルス感染症が流行して以降、流行株の把握と警戒すべき株の動向を監視するために次世代シーケンサーを用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を行った結果を報告します。

島根県における酸性雨の状況

保健環境科学研究所 大気環境科
主任研究員 池田有里

島根県では、これまで県内の各地で酸性雨調査を行ってきました。今回、県内の4地点での調査についてまとめたので、降水の成分濃度や沈着量の昨年までのトレンドなどについて報告します。

湖水の100日分解による難分解性COD調査

保健環境科学研究所 水環境科
研究員 松本奈津美

宍道湖のCODが減少しない理由として、難分解性有機物が原因のひとつであると考えられています。平成31年には難分解性有機物の成分解析と動態調査について報告しましたが、今回は難分解性CODを100日分解法により測定し、難分解性有機物の実態把握調査を行った結果を報告します。

ドップラーライダーによる風況測定とVR/MRによる3D可視化システムの開発

原子力環境センター 監視情報課
課長 田中孝典

発電所周辺の風向風速を立体的に測定するシステムの紹介と、その測定結果を把握するため、立体的に可視化するシステムの開発状況について報告します。

参加申込

下記のURLまたはQRバーコードよりお申込み下さい。

https://apply.e-tumo.jp/pref-shimane-u/offer/offerList_detail?tempSeq=16976

事前申込締切

令和6年1月21日（日）

お問い合わせ

島根県保健環境科学研究所
（松江市西浜佐陀町582-1）
Tel: 0852-36-8181 Fax: 0852-36-8171
E-mail: hokanken@pref.shimane.lg.jp



申込フォーム



第34回 島根県保健環境科学研究所・島根県原子力環境センター 研究発表会

日時 令和6年1月24日(水)
13:30~16:00(開場13:00)
場所 島根県保健環境科学研究所 2階研修室
Zoomミーティング(ハイブリッド開催)

- 開場 13:00
- 開会あいさつ 13:30~13:40
- 研究発表 13:40~15:55

13:40~14:40 (座長:感染症疫学部長 和田美江子)

- ◆ 「栄養調査結果からみた若い世代の食習慣の現状」
保健環境科学研究所 健康福祉情報課 課長 加本路恵
- ◆ 「食中毒細菌であるカンピロバクター属菌の定量的汚染実態調査と次世代シーケンサー解析」
保健環境科学研究所 細菌科 主任研究員 林宏樹
- ◆ 「島根県で検出された新型コロナウイルスのゲノム解析」
保健環境科学研究所 ウイルス科 研究員 曾田祐輔

----- 休憩 (14:40~14:55) -----

14:55~15:35 (座長:環境科学部長 織田雅浩)

- ◆ 「島根県における酸性雨の状況」
保健環境科学研究所 大気環境科 主任研究員 池田有里
- ◆ 「湖水の100日分解による難分解性COD調査」
保健環境科学研究所 水環境科 研究員 松本奈津実

15:35~15:55 (座長:原子力環境センター所長 松尾豊)

- ◆ 「ドップラーライダーによる風況測定とVR/MRによる3D可視化システムの開発」
原子力環境センター 監視情報課 課長 田中孝典

- 閉会あいさつ 15:55~16:00